

2023年 12月 16日(土)

10:00 ~ 12:00

参加費  
無料

東京福祉大学 王子キャンパス 2081教室  
東京さくらトラム(都電荒川線)「梶原」駅前

日本の教育とは、教師を中心とした知・徳・体を基礎とした個の育成と協働的学びをも配慮した教育である。既に本チームによりインドにおける普及が進められている(基盤(C)2018年「インド版日本型学級経営モデルと尺度」の開発、基盤(C)2021年インドにおける「衛生安全な新しい日本型学級経営モデル」)。一方、日本の教育は、教師以外の専門家の配置不足、教師の長時間労働・教師効力感の低さなど多くの問題を抱える。

インドの教育は、教科指導を中心とした個人の学力を伸ばすことである。また、体罰は憲法違反であるが、学校での体罰は一般的である。また、学校心理士は現在組織化が行われつつある。一部の学校では学校心理士の配置が行われている。

インドと日本の学校心理学および学校心理士の比較を行うことにより、今後の両国の発展につながると思われる。

① 日本の教育と課題について

ー 石川 美智子(東京福祉大学 心理学部教授)

② インドの教師と学校心理士について

ー ラマリンガム教授(インド政府国立ポンジェシェリ大学)

③ インドの初等中等教育について

ー ラジェンドラン博士

④ 質疑応答

⑤ まとめ

内容

講師

◆ アジア太平洋学校心理師学会会長 ラマリンガム教授

◆ インドタミルナドゥ州元学校教育共同局長 ラジェンドラン博士

対象者

受講者 40名程度

申し込みはフォームで

<https://forms.office.com/r/gXjHiRnftk>



本シンポジウムは基盤(C)2021年インドにおける

「衛生安全な新しい日本型学級経営モデル」(21K02477)の一部である。

アジア太平洋学校心理学会 共催

お問い合わせ

石川 美智子

Mail : isikawamitiko@hotmail.com

「日本とインドの教育・学校心理学と今後」の  
国際シンポジウム